



# 広報 峡北

平成13年10月1日発行

発行所 峡北広域行政事務組合  
山梨県韮崎市本町4丁目9-48  
☎ 0551-22-3311 編集/総務課  
印刷所 有限会社 タクト



## 平成12年度火災予防 — 図画 — コンクール入賞作品



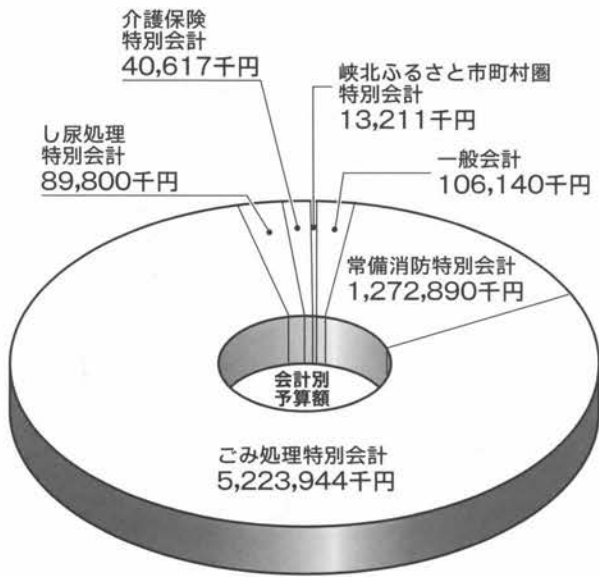
# 平成13年度当初予算額

# 67億4,660万2千円

峡北広域行政事務組合告示第5号  
 地方自治法第233条第6項並びに峡北広域行政事務組合財政公表条例に基づき、  
 平成13年3月31日現在における峡北広域行政事務組合の財政状況を次のとおり公表する。  
 平成13年6月29日 峡北広域行政事務組合 代表理事 小野 修一

財政事情  
の公表

魅力ある住みよい  
地域にする為に



平成十三年年度の、峡北広域行政事務組合当初予算が三月定例議会において可決されました。当組合の財政は、一般会計とそれぞれの目的に応じた五つの特別会計で構成されており、一部の使用料・手数料を除き、そのほとんどが関係市町村からの負担金でまかなわれていますが、ごみ処理特別会計においては、懸案のごみ焼却施設の改築に伴って、事業費の約八十六%が起債及び国・県の補助金でまかなわれています。全体の当初予算額を前年度と比較しますと、四十九億一千八百四十四万九千円余(二六九・〇%)の増となっております。

会計ごとの概要は次のとおりです

- 一般会計  
組合全体の運営や各部門の調整また峡北地域の経済を活性化するための経費です。
- 常備消防特別会計  
消防車や救急車の運行、また防火・防災に要する経費です。
- ごみ処理特別会計  
不燃物や可燃物、粗大ごみなどを処理するための経費及び、その施設の維持管理のための経費です。
- し尿処理特別会計  
し尿を浄化処理するための経費及び、その施設の維持管理のための経費です。
- 介護保険特別会計  
介護保険の認定審査などを行うための経費です。
- 峡北ふるさと市町村圏特別会計  
峡北広域市町村圏の創造的かつ一体的な振興整備に関する経費です。

## 平成12年度 予算執行状況

平成13年3月31日(単位:千円)

会計名	収入済額	支出済額	差引額
一般会計	110,412	104,979	5,433
常備消防特別会計	1,062,460	1,002,643	59,817
ごみ処理特別会計	2,411,538	346,919	2,064,619
し尿処理特別会計	96,892	84,067	12,825
介護保険特別会計	41,539	31,442	10,097
峡北ふるさと市町村圏特別会計	13,797	11,697	2,100
合計	3,736,638	1,581,747	2,154,891

# 「平成12年中」

峡北地区の火災 73件 (前年比17件・30.4%増)  
「平成13年8月末現在」 64件



# ゴミ焼却の飛び火にご用心!!

―その場を離れず、消火の準備を忘れずに―



## 防火はあなたが『主役』です

今年も十一月九日から十五日まで、火災予防意識を喚起するため、秋の火災予防運動を消防本部・消防団一丸となって展開します。

平成十二年中の火災件数は、七十三件で前年と比較して十七件(二十%)の増でした。

火災種別で最も多かったのは、建物火災で三十二件、次いでその他火災(ゴミの焼却・野焼き等)十八件、林野火災十三件、車両火災十件の順となっています。

損害額は、二億一千万円余りとなりました。出火原因で最も多いのは、ゴミ等の野焼き十一件、続いて火入れ等の飛び火六件、タバコの火の不始末五件となっています。

なお、昨年は一件であった「放火及び放火の疑い」が五件に増加しています。

放火を未然に防ぐため、家の周囲等に燃えやすいものを放置しないように心掛けましょう。

直接的に被害を及ぼす建物火災の比率が高く、又出火原因についても「ゴミ等の野焼き・火入れ・タバコ」等、人災的側面の強い原因が上位を占めています。

今年については、八月末現在で六十四件と、昨年同様ハイペースで件数が増加しており、これから空気が乾燥し、火気の使用機会も増える火災多発シーズンを控え、火災の増加が懸念されます。

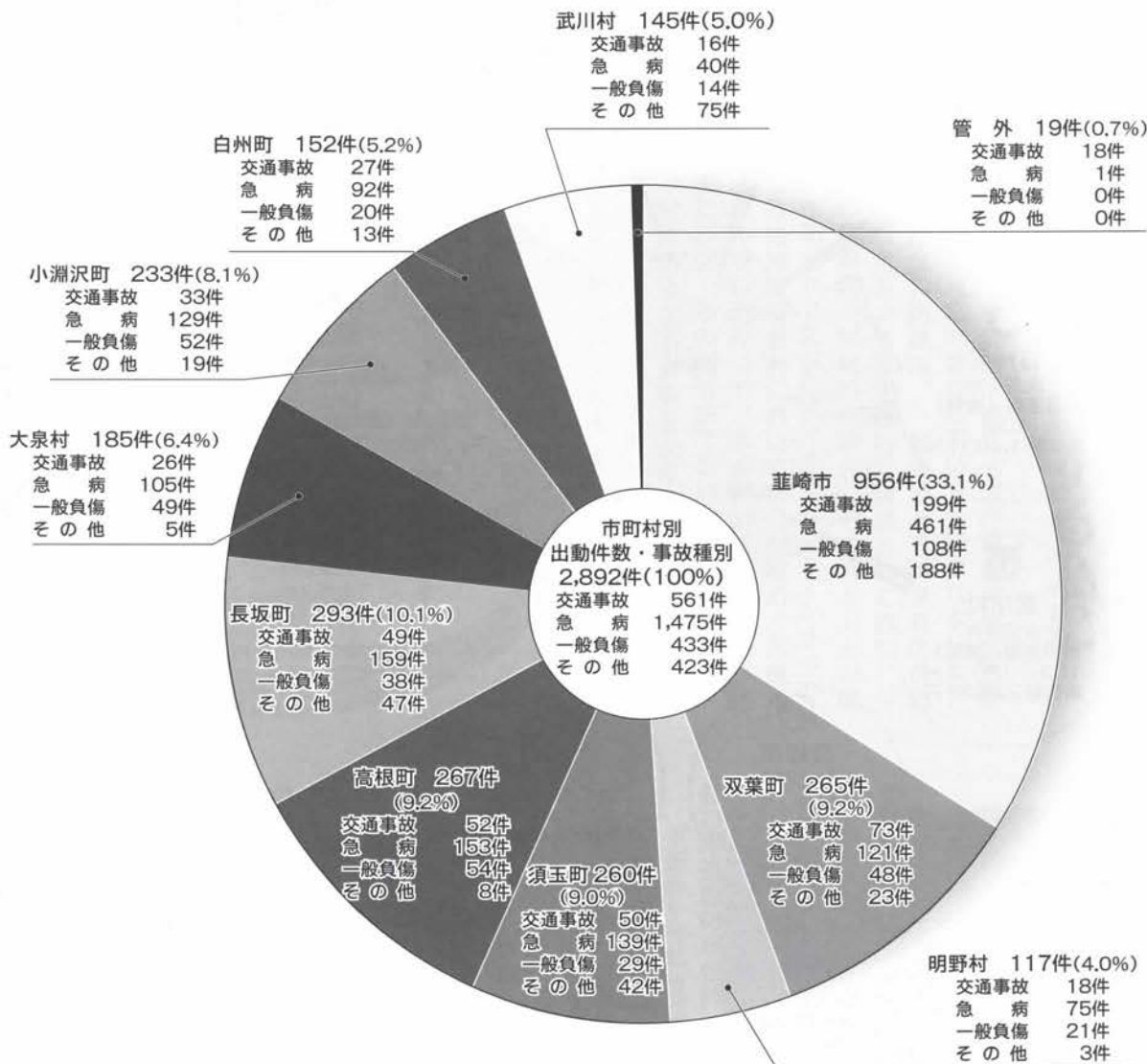
火災の大半はちょっとした火気取り扱いの不注意や、不始末から発生しています。皆さんの大切な生命・財産をまず第一に火災から守る者、それは他でもなく皆さん自身です。一人一人が防火の「主役」なのです。



# 平成12年中の救急活動状況

峡北地区の平成12年中の救急業務実施状況は救急出動件数が2,892件、搬送人員が2,916人で前年に比べ、出動件数において287件(11.0%)、搬送人員においては263人(9.9%)増加しました。

## 市町村別出動件数及び事故種別件数状況



### あなたの応急手当が 生命を救う!

この内救急隊現場到着時、心肺蘇生(人口呼吸+心臓マッサージ)を必要とした人は86名でそのほとんどが何の応急手当でも受けられずにいます。「もしも」の時「救命の輪(迅速な119番通報・住民による応急手当・救急隊による応急処置・病院による専門処置)」による救命率の確実な向上は言うまでもありません。

当消防本部では救命率の向上のため、救急要請受信時に救急現場又は、付近にいる人に対し電話等により、応急手当の協力を要請し口頭で応急手当の指導を実施しております。又、住民の皆様を対象に適切な応急手当を習得して頂くよう普通救命講習も通年実施して、修了者には修了証を交付しております。

普通救命講習を受講、希望される方は、お近くの消防署、分署、分遣所にお問い合わせ下さい。



# 正しい救急車の呼び方！

119番が通じたらあわてないで、次の事をはっきり伝える。

1. 今、どんな状態か、意識があるかないかを告げる。
2. どうしてけがをしたのか、どんな状態で発病したのか。
3. 傷病者が複数いる時は、その人数。
4. 持病があればその病名、かかりつけの病院。
5. サイレンが聞こえたらできるだけ、案内する人を出して誘導する。

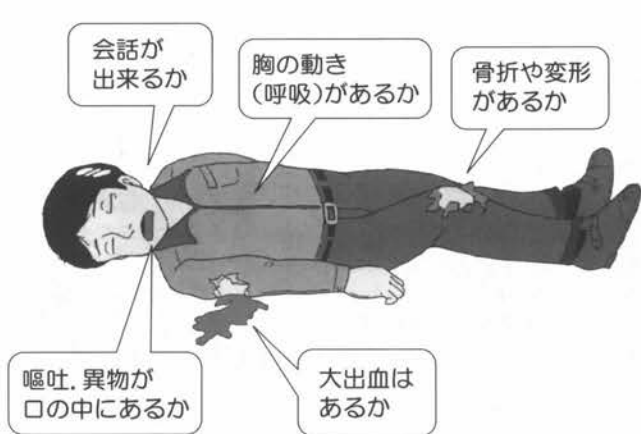
※ **チェックポイント** 意識を調べる！

意識を調べるには、次の方法があります。

- ① 声をかけてみる→会話ができる・目をあける
- ② 肩などをたたいてみる→目を閉じているが手足を動かす・顔をしかめる



この様な事をしてても何も反応がない場合に意識がないと判断してください。



今の傷病者の状態をできるだけくわしく通報してください。

**迅速な119番通報は、大切な命を救う**

- ◎ その場に居合わせた人の応急手当
- ◎ 迅速な119番通報
- ◎ 救急隊員による応急処置
- ◎ 医療機関による専門治療

これらのどれ1つがかけても救命リレーは成功しません。

皆さんの適切な119番通報をお願いします。

韮崎市・北巨摩地域で119番をかけると、峡北消防本部（韮崎市本町4-9-48）通信指令室につながります。

また、県内国中地域から携帯電話で119番をかけると甲府消防本部に、又清里方面では電話会社によっては、長野県の上田消防本部通信指令室につながりますので「峡北消防本部へお願いします。」と伝えて下さい。当消防本部通信指令室に転送されます。

なお、携帯電話で通報する場合、地域によっては途中で切れたり声が小さく聞き取れないことがありますので注意して下さい。

峡北消防本部の一般加入電話は、**0551-(22)3311**です。

119番へ電話が通じたら、あわてずに次の要領ではっきりと通報します。

## 119番に通じたら

峡北消防本部の問い掛け	通報者の通報要領
119番消防です。火事ですか！救急ですか！	救急です。
どうしましたか！	交通事故です。あるいは急病人です。 (簡潔に事故の状況・傷病者の状態を説明)
場所はどこですか！近くに目標はありますか！	〇〇町〇〇の〇〇小学校の前です。
電話番号とお名前を教えてください。	(〇〇)〇〇〇〇の峡北太郎です。
はい、分かりました。	



# 峡北広域環境衛生センター (ごみ処理施設)

## 新しいごみ焼却場

### 来年十二月の稼働をめざし三月二十七日着工

峡北広域環境衛生センターは、昭和四十七年四月一市十町村により、広域行政事業として、ごみ処理業務をすすめてまいりました。

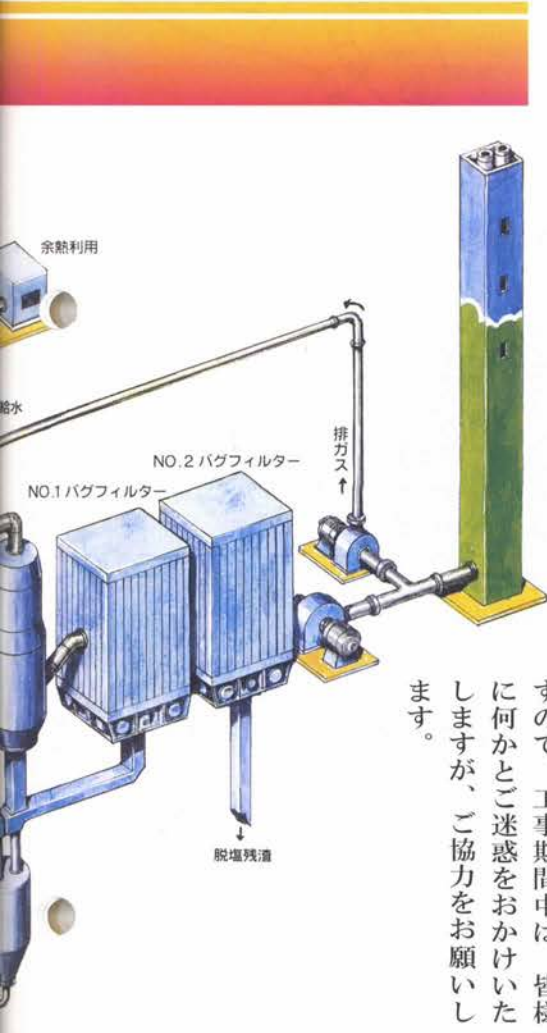
その後、昭和五十七年三月全面改築し現在に至っております。

現在の燃焼装置は、多段扇型ストーカ式といい、燃焼温度は約一〇〇〇度で稼働しております。処理規模は、二十五トン×二炉であり、全面改築後二十年が経過し、老朽化も著しく修理を重ねる中で維持して参りましたが、今後増大するごみを、適正に処理することが困難となりました。

又、平成十四年十二月からダイオキシン類の排出基準が、大幅に強化されるため、建て替えを余儀なくされ、現在地に新しい施設を建設することにしたものです。

新施設は、県内自治体では初めてのガス化溶融炉で、一日の処理量八〇トン(二十四時間運転)の炉二基を備え、テスト期間を経た後、平成十四年十二月一日からの稼働をめざします。ダイオキシン類の排出量は、一立方メートル当り、〇・二ナノグラム(チ

ノは十億分の一)以下で、国の新基準を大幅に下回る施設となります。キルン式というこの処理方法では、



ごみと一緒に加熱空気(約四五〇度)を送り、熱分解ドラム内で一時間かけて、ゆっくり蒸し焼きにして炭化させます。次に有価物(鉄・アルミ)を取り出します。更に、炭化されたカーボンと熱分解ガスが高温燃焼溶融炉(約一三〇〇度)で、溶融されその殆どがスラグ(有価物)となります。その燃焼溶融炉内の熱を加熱空気として、再度熱分解ドラムに送り利用します。又、蒸気を利用して発電用のタービンを回し、発電をして施設内に供給して参ります。更には、お湯は多目的施設等に供給できます。

この処理方式での、溶融のためのエネルギーは灯油であり、一旦稼働すれば自己熱だけで、一切外部のエネルギーは不要となり、安価で運転することが出来ます。

焼却施設完成後は、現焼却施設を取壊し、その場所に粗大ごみ処理施設を改築する予定です。又、緩衝地帯・多目的広場・ごみ搬入道路拡幅整備

等随時計画的に進めて参りますので、工事期間中は、皆様にご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

#### ● 施設の概要

所在地 葦崎市竜岡町下條南割1895番地  
敷地面積 約29,000㎡  
建築物の構造及び階数 鉄筋コンクリート造、地上2階建て  
管理棟 焼却施設棟  
鉄骨造(1部鉄筋鉄骨コンクリート造)  
地下1階、地上4階(6層)建て

#### 焼却施設規模

160トン(80トン×2炉)  
請負業者 東京都 三井造船株式会社  
工期 平成13年3月27日から  
平成15年3月15日まで  
事業費 83億7,900万円(消費税込み)

#### ● ダイオキシン特別措置法

既設炉に課せられる環境基準  
平成14年11月30日まで80ナノグラム以下  
平成14年12月1日から5ナノグラム以下となり現在の施設では対応できない。  
新設炉に課せられる環境基準  
平成14年12月1日より1ナノグラム以下

#### ● 燃焼溶融

分解ドラムから出る分解ガスと熱分解カーボンを高温燃焼溶融炉に送り、約1,300℃で燃焼させ、溶融スラグを採取します。溶融のため外部エネルギーは不要。

#### ● 発電行程

高圧な蒸気条件(400℃)が可能。また、蒸気圧が小さい(1.2)ことにより、蒸気中の水分がガスの持ち出す熱量を減らすことができます。そのため、発電効率の向上が期待されます。ドラムを回転させることで、スラグの回収率を向上させ、コストを低減します。





安全祈願祭 平成13年6月27日



完成予想図

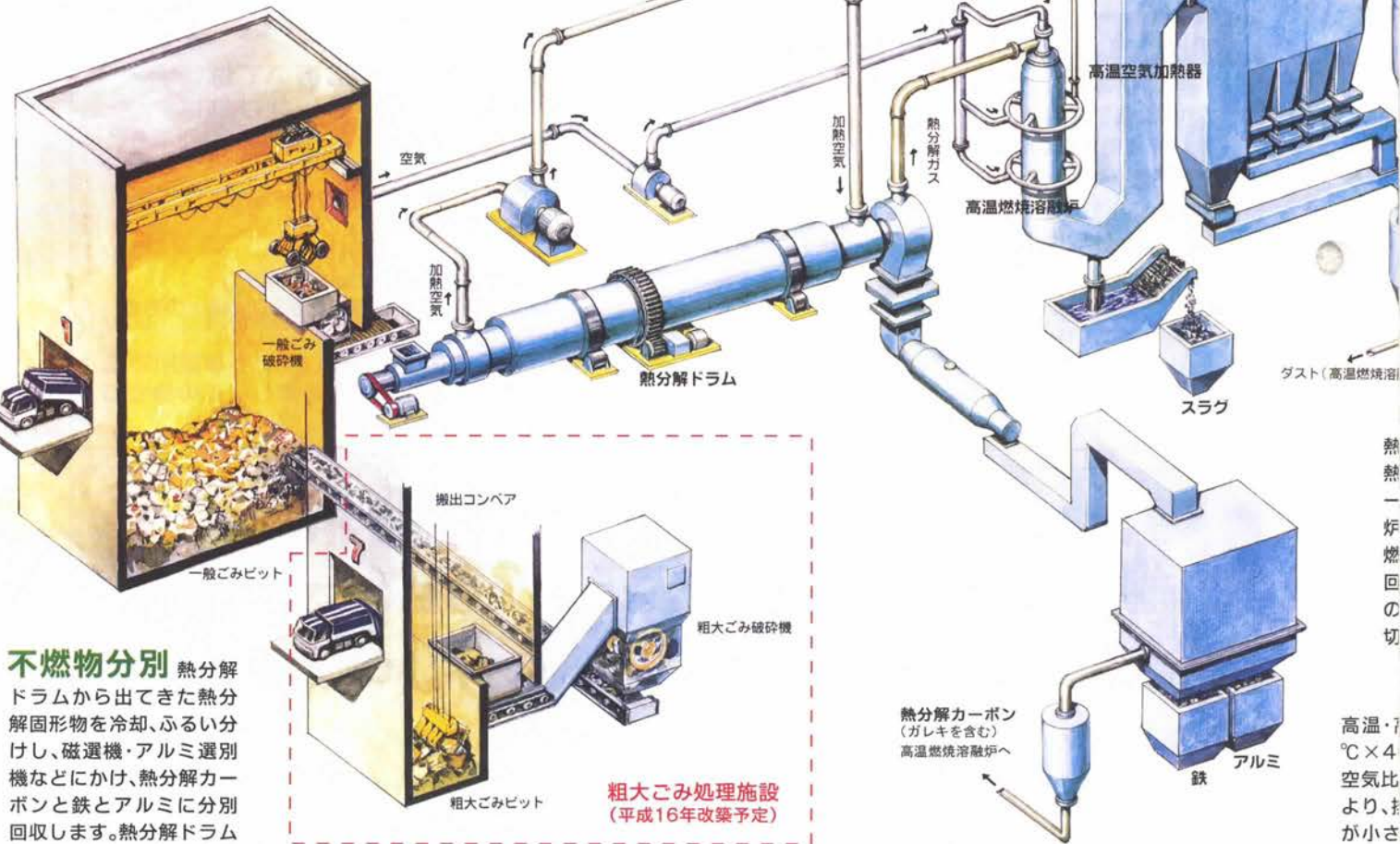
# ごみ熱分解・燃焼溶融施設フロー

## ◆これまでのごみ焼却設備になかった6つの特長

1. 灰分をごみのもつエネルギーで溶融できる。
2. 鉄・アルミ・ガレキを焼却前に回収し、有価物として再利用できる。
3. スラグ・ガレキを有効利用すると、ごみからの減容率が1/200となる。
4. 排ガスがクリーンで、[ダイオキシン：0.1ng/Nm<sup>3</sup>-TEQ以下]を保証できる。
5. 蒸気条件を400℃、40気圧を標準設計にしており、従来のプロセスに比べて、発電効率が高い。
6. 従来の溶融炉に比べ、スラグに固定される重金属割合を高めることも可能。  
(飛灰を循環溶融することにより)

**排ガス処理** 廃熱ボイラを出た排ガスは、従来技術を組み合わせたプロセスで処理され、有害物質の煙突出口条件に合わせてから排出されます。

**熱分解** 破碎された廃棄物を空気のない状態で約1時間、450℃で蒸し焼きにし、熱分解ガスと熱分解固形物を生成します。



**不燃物分別** 熱分解ドラムから出てきた熱分解固形物を冷却、ふるい分けし、磁選機・アルミ選別機などにかけて、熱分解カーボンと鉄とアルミに分別回収します。熱分解ドラム内の温度が450℃と低温なため、鉄は酸化されず、アルミも溶けていない価値の高い状態で回収できます。

**高温空気回収** 高温燃焼溶融炉から出る高温の排ガスを、熱交換することにより、熱分解ドラム加熱用の高温空気を回収します。

**前処理** 熱分解を容易にするため、二軸せん断破砕機で廃棄物を150~200mm以下に破碎します。

熱熱一炉燃回の切  
高温・7℃×4  
空気比  
より、排  
が小さ  
率は、こ  
の約2  
熱分解  
電気な  
ンニン



# 火災予防「図画」「標語」コンクール

## 標語の部

### 最優秀賞

火をつけた その手その目で 確認を

双葉西小学校六年 柳本 菜美

### 優秀賞

まあいいや 心のゆだん 火事のもと

日野春小学校五年 大石 拓未

### 優秀賞

つけたら消そう その気持ちが 火事を防ぐ

高根東小学校五年 清水 結圭

## 図画の部

### 最優秀賞

伊藤 瞬くん  
多麻保育所



### 金賞

八巻 沙莉ちゃん  
秋田保育所



### 金賞

小沢 駿介くん  
秋田保育所



峡北消防本部では、火災予防思想の普及啓発のため、管内の幼年消防クラブから「図画」、「少年消防クラブ」から「標語」の推薦作品の募集をしました。

作品数一五六点から厳正な審査の結果、掲載の方々が最優秀賞等に入選され、消防長から賞状と記念品が贈られました。

なお、入賞作品は葦崎ショッピングセンターに掲示後、現在消防本部二階に展示してありますのでご覧ください。

## 防火管理者講習会

当消防本部では平成13年度の資格付与講習会を次のとおり行います。  
(甲種防火管理者講習)

### ■講習会

平成13年11月29日(木)～30日(金)

■場 所 須玉町農村総合交流ターミナル『ふれあい館』  
北巨摩郡須玉町若神子521-7

### ■申込み受付

平成13年11月5日(月)～11月9日(金)までの間、消防本部2階予防課で受け付けます。

なお、定員100名になり次第締切ります。

※ 詳細については、最寄りの消防署、分署、分遣所にお尋ね下さい。

● 次のような建物においては、防火管理者を選任しなければなりません。

○百貨店・旅館・病院など(特定用途)で収容人員が30人以上のもの

○共同住宅・学校・工場・事務所など(非特定用途)で収容人員が50人以上のもの

◆ 現在防火管理者を選任している事業所等においては人事異動等を考慮し、この機会に受講して下さい。

## 高圧ガス危害予防週間

平成13年10月23日～29日まで

家庭のガス消費設備を再度チェックしガス事故を防ぎましょう。

### ● 消費者のうっかりミス及び老朽設備による事故の主な原因

- \* ガス栓の誤開放、開閉不十分
- \* ゴム管のひび割れや接続不良
- \* 配管接続部の腐食、損傷

### ● 給排気、換気の不良、燃焼器具の整備不良による事故の主な原因

- \* 燃焼器使用時の換気不良
- \* 排気筒のはずれや鳥の巣などの異物による排気不良



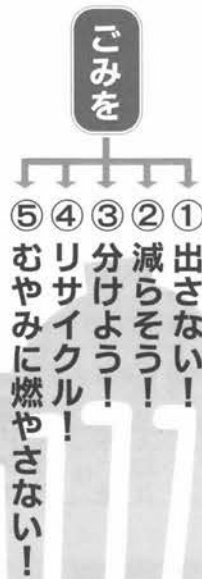
# 環境衛生センターからのお願い

## 『物を大切に』 ごみの減量につなげよう！

最近「このまま捨てる世紀で終わっていいのですか？」や「このまま捨てる世紀を続けるのですか？」のコーナーや「フリーマーケット」などのゴミの減量化、リサイクルを象徴する言葉をよく耳にします。比較的ゴミの量が多い八月の当センターへの燃えるゴミの搬入量を比べてみますと、二〇〇〇年八月の搬入量は一日平均約七十トン、二〇〇一年の搬入量は一日平均約七十八トンです。二十世紀になってもゴミが増えつづける傾向に変わりがないことが分かります。

資源は無限ではありません。「使えば捨てる」の繰り返しではいけません。当センターでは社会科見学などで訪れるお子さんたちにゴミの減量化について考えてもらうなど啓蒙活動に力を入れています。「物を大切にすること」とは、ひいては人をいたわることにつながります。このことは今からのお子さんたちに是非とも必要なことではないでしょうか。これを機会に各ご家庭でもゴミの減量化について考えて頂きたいと思えます。そして、「物を大切にすること」をもう一度考え直してみませんか。

### ごみの五箇条



※なお、個人の方が直接環境衛生センターにごみを搬入できる日時及び料金は次のとおりです。

ごみの搬入出来る日(個人)及び料金について

#### ① 可燃ごみ

月曜日～金曜日

(祭日は除く)

午前8:30～午後12:00

午後1:30～午後3:00

#### ② 不燃ごみ

月曜日～金曜日

(木曜日・祭日は除く)

午前8:30～午後12:00

午後1:30～午後3:00

#### ③ プラスチック

木曜日のみ

(祭日は除く)

午前8:30～午後12:00

午後1:30～午後3:00

※ 土曜日・日曜日は、搬入出来ません。

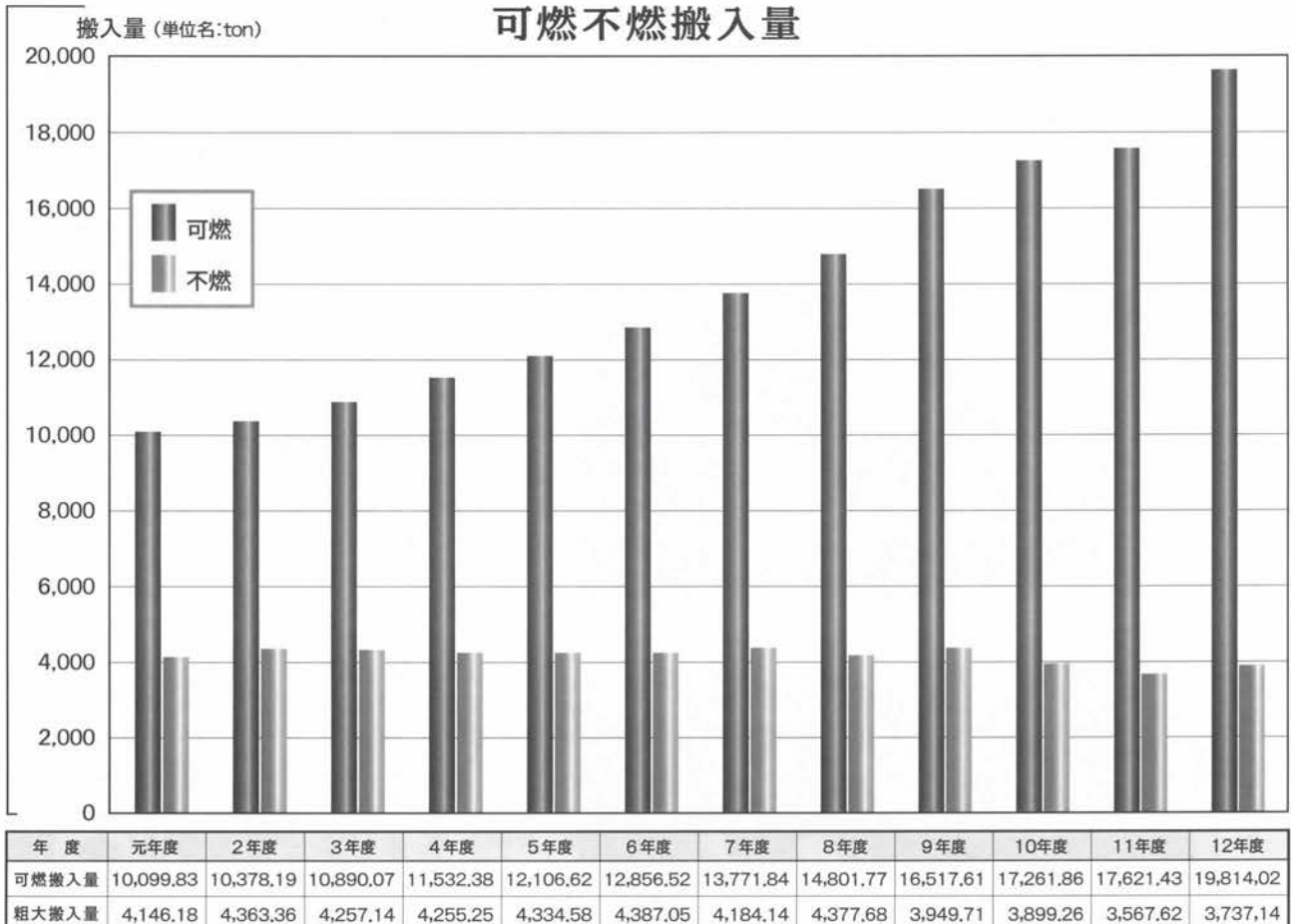
※ 料金は、1kg当たり17円です。(消費税は別)

### 収集できない品目

タイヤ・タイヤホイール・バッテリー・バイク・ペンキ・ガスボンベ・瓦・レンガ・廃油・医療廃棄物・薬品・消火器・自動車・農業用ビニール・農機具・ボイラー・畳・焼却灰・コンクリート片・ブロック・ビニールホース・タイヤチェーン・スプリング・太陽熱温水器・農業用ビニールシート・ドラム缶・エアコン・ベッドや応接ソファー・最大寸1.5mを超える電気製品及び家具類など

自営を含め、事業に伴って排出されるものは事業主の責任により処理してもらう。購入した販売店などに引き取ってもらうようにする。

### 可燃不燃搬入量





# ふるさと振興課からのお知らせ

## 峡北総合情報誌発刊事業

峡北総合情報誌「ブリーズ」第三十号（秋・冬号）が発刊になりました。峡北の新名所、峡北の味、峡北イベント情報等を情報量満載の内容になっています。今後の発刊予定は来年二月になっています。

なお、当組合（ふるさと振興課）のほか、峡北地域の市町村役場や、県内外の観光案内所等に配布しており、入手することができます。

また、峡北総合情報誌「ブリーズ」発刊事業は、平成三年度から実施しており県内外の方々に山梨県の峡北地域PRを目的に発刊し、地域振興を図っています。



## 第7回 フリース美術展



峡北地域で活躍する美術家たちの優れた作品を一堂に集めた「フリース美術展」今年で第七回を迎えます。

絵画・彫刻・陶芸・書道等ジャンルを越えた一流の作品を是非ご鑑賞下さい。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

日時 平成十三年十月十三日(土)～十月二十八日(日)

〔月曜日は休館日〕

会場 韮崎市文化ホール美術展示室

入場 無料

主催 峡北広域行政事務組合

(主管 ふるさと振興課)

お問い合わせ先

峡北広域行政事務組合ふるさと振興課

☎〇五五一一二二二三一一(代)

☎〇五五一一二三一一二〇一一(直)

韮崎市文化ホール

☎〇五五一一二〇一一二五

## ふるさと振興観光

## キャンペーン事業

ふるさと振興観光キャンペーン事業は、県内外で行われるイベントに参加して山梨県峡北地域をPRしています。

県内では、毎年十一月に小瀬スポーツ公園等で行われる県民の日記念行事六十四市町村ときめき広場に参加して峡北地域特産品等の抽選会を行っています。

今年も十一月十七日(土)～十八日(日)に行われる県民の日記念事業六十四市町村ときめき広場に参加(予定)し、峡北地域特産品などが当たる抽選会を行う予定です。ぜひ皆さんもお越し下さい。

また、県外で行われる各種イベントにも参加して峡北地域のPRを行っています。



春の関東甲信越静観光展 (JR東京駅)



県民の日記念行事



# 「介護認定審査会事務局より」

## 福祉課

自立		43
要支援	常時介護を必要としないが社会的支援を要する状態	499
要介護1	部分的要介護を要する状態	908
要介護2	軽度の介護を要する状態	594
要介護3	中程度の介護を要する状態	432
要介護4	重度の介護を要する状態	375
要介護5	最重度の介護を要する状態	400
合計		3,251

平成十二年四月よりスタートした介護保険高齢社会を迎えたいま、介護はだれでも直面する問題となっています。たとえ自分や自分の家族に介護が必要となっても希望が尊重され自立した生活を続けることができ、そんな老後の安心を、みんなで支える制度としてスタートしたのが介護保険です。  
介護保険制度についてのお問い合わせは、お住まいの市町村へお願いします。

## 介護認定Q&A

**Q** 介護の認定ランクは一度決まるとそのままなのですか。

**A** 認定結果は、原則6ヶ月ごと見直しが行われています。有効期間満了前に要介護更新認定の申請を市町村の窓口でおこなって下さい。

**Q** 介護認定結果の有効期間は6ヶ月と決まっているのですか。

**A** 原則は6ヶ月です。ただし、現在の状況がどの程度継続するか観点から3ヶ月～12ヶ月に短縮、延長されることもあります。

### 〔有効期間を短縮する場合 (3ヶ月～5ヶ月)〕

発症早期であって、心身の状態が6ヶ月以内において変動しやすいと考えられる場合等は短縮されます。

### 〔有効期間を延長する場合 (7ヶ月～12ヶ月)〕

更新認定であって、心身の状態が安定しており、現在の状況が継続すると見込まれる場合等は延長されます。尚、有効期間内であっても、心身の状態に変化があった場合は変更申請をすることができます。



表紙の絵は次のごども達の作品です

平成十二年度火災予防「図画」コンクール入賞作品

★最優秀賞

円野保育園

伊藤 瞬

★金賞

多麻保育所

八巻 汐莉

秋田保育所

小沢 駿介

☆銀賞

小淵沢東保育園

平出 加奈

若神子保育所

丸茂 史尚

多麻保育所

八巻 佐季

多麻保育所

小林伶衣可

秋田保育所

丸茂 正椰

秋田保育所

小澤 冬詩

白州保育所

平林里奈子





# 山梨県防災航空隊派遣

昨年の四月から、山梨県防災航空隊「あかふじ」の副隊長として、当消防本部の小沢浩典消防士長が派遣されています。小沢副隊長は、「今後多発するであろう防災ヘリでの各種災害時に備え、日々の訓練を重ね更に迅速・的確に現場対応できるよう最善を尽くし任務を遂行していきたい。」と抱負を語ってくれました。



防災ヘリ「あかふじ」は、林野火災における消火活動、山岳地域や河川等における人命救助活動、各種災害現場の状況把握等の情報収集活動、重症者の搬送等の救急活動等で活躍しています。

# 救急救命士紹介



平成十二年度・救急救命士の国家試験に葦崎消防署深沢孝行消防副士長が合格しました。合計九人が当本部で、救急救命士として活躍しています。

私は、昨年十月東京都八王子市にあります、救命救急東京研修所へ入校し、六ヶ月間の研修で医学的知識や実習を学び、国家試験に無事合格し、今年四月救急救命士としてのスタートラインに立つことができました。

この救命士制度も、もうすぐ十年が経過しようとしています。

今後は、地域住民の皆様信頼される救命士を目指し、また一人でも多くの生命を助けて救命率向上のため、全力で頑張っていきたいと思えます。

# 新人消防士紹介

平成十三年四月に、四名の消防職員を採用いたしました。



樽林 学  
◆自分が育った街を守る消防という仕事に誇りを持ちながら、地域住民に信頼され、又住民にとって身近な消防士となれるよう一生懸命頑張ります。



山西 正悟  
◆社会の発展に伴い、更に多様化するであろう災害に対し、迅速且つ適確に対応し、地域住民の安全を確実に守っていきけるように、日々努力します。



宮川 勇一  
◆地域社会の安全を担っているという誇りと責任感を持ち、災害に備えた安心して暮らせる住みよい街づくりのために、精一杯力を注いでいきたいと思えます。



川口 和宏  
◆峡北地区の素晴らしい環境を守るためには高度な技術や体力などが要求されると思えます。日々鍛錬を積み、より良い地域づくりに努めていきます。

市町村・自治会・区会等の防災訓練に積極的に参加しましょう。